

その他の清掃・と畜業における死傷災害発生事例（2017年）

年	月	発生時	死傷災害発生事例	年齢	起因物(小)	事故の型	労働者規模
2017	1	10～11	ゴミ集積所でゴミ収集作業中、路面が凍結していて、足を滑らせ転倒した際に左足を負傷した。	40	719	2	—
2017	1	14～15	約50㎡の部屋にて、移動していた物（机）を元に戻そうとした。机（約120×100×40、重さ約20kg）を持ち上げた際に背中に痛みがはしり、倒れ込んだ。	29	611	19	10～29
2017	1	11～12	本人は、休養管理室の清掃業務に従事していた。お昼前に装置室で、消毒剤を浴槽に入れるため、壁際に置いてある計量カップを取ろうとしたとき、床下配管のパイプ覆い部分の隙間に左足が入り込んだ。左足を抜こうとしたときにバランスを崩し、転倒し左大腿部を地面に打ちつけ負傷した。	69	417	2	50～99
2017	1	0～1	本人は、当日の清掃を行う徹夜1番を担当していた。下りホームで集めたゴミを片づけようとゴミ置場に行き、台車からゴミ袋を持って集積場所へ歩いている時、コンクリートの段差に躓き転倒し負傷した。	60	417	2	30～49
2017	1	2～3	左足が鉄板の淵に引っかかり、右足を突っ張って着地した際に右足首に痛みを感じた。大丈夫と思い帰宅し、翌日も出勤して夜勤作業を続けたところ、痛みが引かなくなった。	61	417	2	100～299
2017	1	8～9	作業開始の為、構内を歩行中に鉄板の上が凍っているのに気が付かず、滑って転倒し肋骨1本に骨折を負った。	65	417	2	100～

									299
2017	1	10～ 11	就業場所の管理室内で、清掃に使用した雑巾を洗うため、電機ポットで沸かしたお湯を流し台に置いた洗面器に入れようとし、利き腕でない左手でポットを持って移動させた際に、持ち上げ方が十分でなかったため、ポットの下部が流し台上面に当たって傾き、お湯が上部から飛び出して両足太もも部にかかり負傷した。	61	379	11	～	300 499	
2017	1	10～ 11	工具を持って、場内移動中に段差に足を引っかけて転倒し、頸椎と頭部を負傷した。	62	417	2	～	50 99	
2017	1	11～ 12	タイヤショベル0.5?を運転作業中、左側のドアから乗車して開いたままドアロックをしないでバックした時、勢いよくドアが閉まった時、左手をボディに添えていた為、ドアとボディに挟まれ左手小指を骨折した。	52	142	7	～	10 29	
2017	1	9～ 10	被災者は、収集現場（被災場所）に到着し、収集車から降りる際に、歩道のスロープを見誤り、ついた左足が内側に入るような状態で捻ってしまい転倒した。痛みがあり作業を続けることができなかつたため、様子を見ていたが痛みが引かず、左足関節靭帯損の診断を受けた。	43	417	19	～	50 99	
2017	1	15～ 16	会社の工場現場より出た廃材をトラックから搬出作業中にコンテナに張ってあるシートを外すときにトラックのキャビンの上のシートを外そうとしたらバランスをくずして、転落して両足かかとを骨折した。	43	221	1	～	10 29	
2017	1	9～ 10	スーパーマーケットの敷地内におけるグリストラップの清掃において、地面にはまっている蓋（60×60cm程度、四角形）にフックを掛けて外す間、そばで待機するように言われていたが、フックが滑って外れ蓋が落下したため、咄嗟に手が出てしまい、支えきれずに開口部と蓋の間に指を挟まれてしまった。	20	391	7	—		
		11～	定期点検の為、床下点検中に塩ビ管を乗り越えようとした時に手足					1～	

2017	1	12	が滑り、塩ビ管で胸を打った。	34	416	3	9
2017	1	12~ 13	午前中の可燃ごみ収集作業を終え、被災職員の乗った収集車が事業所に戻り、事業所内の洗車場で停車した。被災職員は収集車を洗車するために降車し、一段上に備え付けてある洗車銃を持ち水を出しながら収集車の方へ向かったところ、収集車に意識を向けていたため足元の注意が疎かになり、段差で左足を踏み外して下の側溝の蓋の上に落ちて座るような体勢になった。踏み外した際、左足首に激痛がはしりそのまま動けなくなった。	61	418	2	100 ~ 299
2017	1	19~ 20	塗装ブース清掃を行い、排気洗浄室エリミネーターの取り外し清掃完了後、復帰作業を行う時、物（エリミネーター）を持ったまま体勢を入れ替え様とした時に足が滑り、骨組みのアングル部で胸部を打った。	61	391	3	30 ~ 49
2017	1	10~ 11	作業現場の段々の植え込みの除草作業中、横に移動するために握った低木の枝が折れ、約4.5m下の地面（土の上）に落下し、腰部と殿部を打った。しばらくは痛みはあるものの日常生活はできており、出勤もしていたが、痛みは改善しなかった。	61	711	1	1~ 9
2017	1	9~ 10	浄水場の3号配水池（3000t）の槽内清掃の為、潜水工法にて潜水作業中、突然呼吸音、応答がなくなり、もう1人の潜水士が緊急潜水し救助にあたった。被災者本人がすでに水中マスクを外しており、呼吸確保が出来ず、消防要請をしたが死亡事故に至った。	34	713	10	10 ~ 29
2017	2	8~9	地下に設置されている排水槽で清掃作業をするために、地下に設置されている昇降用脚立（1m）に足を掛け降りようとした時に脚立が倒れ床面に右膝を強打した。	45	371	1	10 ~ 29
2017	2	14~15	工場内にてスケール清掃中、集塵機の切り出し口が詰まっていると思い、左手を入れたところ回転中のロータリーバルブに挟まれて負傷したものである。	65	169	7	10 ~ 29
			車庫内において運転手と作業者がペアで運行前点検を行っていた				

2017	2	8~9	際、バックランプ点灯確認をする為、ギヤをバックに入れた時に足でクラッチを充分踏み込めず車両が急後退し作業者を柵と挟んでしまった。始動前に運転席シートの位置を調整せずに点検作業に入ってしまった。衝突時、車両は輪止めを飛び越えていた。	39	221	7	10 ~ 29
2017	2	18~19	施工現場から社用車で営業所へ戻り、左後部座席から車を下りて助手席側に小走りで移動していた際、同乗者（同僚）が同タイミングで開いた助手席側のドアに衝突し受傷した。	26	231	3	10 ~ 29
2017	2	12~13	午後からの収穫のため、敷地内にあるごみ収集車に乗り込むための歩行中に、足がからみバランスを崩して前から転倒した際に左手小指に体重がかかり、左手小指を負傷した。	69	417	2	100 ~ 299
2017	2	10~11	3系B1FNo.1スラグコンベヤ下部のスラグを受け箱に入れて点検口に運搬しようとした際に腰に違和感を感じた。その後、1FNo.1スラグコンベヤ下部のスラグ清掃、風選トロンメル点検、5FのNo.2スラグコンベヤ下部のスラグ清掃と作業を進めるごとに痛みが酷くなっていた。	35	921	19	30 ~ 49
2017	2	9~10	被災者は、当日、収集現場（被災場所）において粗大ごみとして排出されていた、タンス（高さ150cm×幅100cm）をごみ置場から収集車に積み込むために引っ張り出そうと、押したり引いたりして移動していたところ、押した際に、それまで動いていたタンスが何かに引っ掛かったようで急に止まり、押した力がそのまま右手首にかかり、手前に捻ってしまった。	51	611	19	50 ~ 99
2017	2	7~8	当社敷地内駐車場において、車を停め出社しようとした数メートル歩いていたところで車の施錠を行ったかどうか気になり、車に戻ろうとした際、慌てて振り向き、バランスを崩し足を捻って転び負傷した。	33	418	2	30 ~ 49
2017	2	9~10	倉庫の清掃作業中、資材確認のため中2階柵に椅子を使用し、上った。確認後、降りる際、足を滑らせバランスを崩し、1.2m~1.5m程滑り落ちた。落ちた際に胸と左手首を打撲し、負傷した。	38	371	1	10 ~ 29

2017	2	9~10	浄化槽点検作業時、マンホールの鉄蓋を手鉤で上げている時に腰でバキッと音がし、痛みを感じたので、病院に診察に行ったらMRIの結果、腰椎圧迫骨折と診断された。その後、整形外科に入院となる。	54	419	19	50 ~ 99
2017	2	11~12	ゴミ仕分け場において大ビニール袋を3枚両手に持ち、ゴミ箱設置場所に向かう途中に仕分け場入口スロープ付近で、手に持っていたビニール袋を靴で踏んだ際に、滑って尻もちをついた。	64	419	2	10 ~ 29
2017	2	8~9	病院の4Fの掃除に入り、ゴミ取りのため新館の方の中央トイレに入ってゴミ箱を持ち上げようとした時にギクッと来て動けなくなった。	60	379	19	30 ~ 49
2017	3	8~9	被災者は当社産廃施設内で受け入れ管理に従事している。事故当時、1m立法の鉄製の網箱約300kg（野菜くず）をリフトで所定の位置に空け、その後人力で水洗い清掃するため箱をリフトで降ろして所定の位置に引っ張った際、左肩を負傷した。	49	611	19	1~ 9
2017	3	13~14	ホーム下の線路上で車両検修作業のため、車輛の先頭に挟まったトンビを取り除いた。トンビをホームに上げるため左足を軸にして反時計回りに回転した際、右足親指をレールに強打した。	57	921	19	10 ~ 29
2017	3	11~12	取引先の敷地内において、フォークリフトで廃棄するパレットを2tダンプの荷台に積込を終え、リフトを運転していたA従業員は、ダンプの後方へリフトを移動させようとした際にリフトの切り替えスイッチをバックに切り替えたと勘違いし、アクセルを踏み込んだところ、リフトが前進しダンプの荷台にリフトの爪部が当たったとき、ダンプ荷台から降りようとしていた被災者の両足が荷台とリフトの爪部に挟まれ負傷した。	58	222	7	1~ 9
2017	3	13~14	センター内の馬道にて、馬糞を馬道から取り除く作業中に、手箕にて一輪車上の馬糞、及び砂を馬糞回収BOXへ移す際、腰を痛めた。	63	379	19	50 ~ 99

2017	3	15~16	得意先にてゴミ回収時に、設置しているごみ容器を傾けて排出している際、ごみ容器が足の上に倒れ負傷した。	55	379	5	1~9
2017	3	15~16	資材置場で杭打ちをしているとき、単管パイプを左手で押さえて重機で投げ打つときに重機のバケットと単管パイプの間に左手親指先を挟み骨折した。	66	142	7	10~29
2017	3	15~16	駅前道路清掃作業を終え、自転車にて事務所戻る途中、事務所近くの路上にて転倒し、左太腿骨を骨折した。	63	362	2	10~29
2017	3	11~12	道路清掃作業中、駐車中のミキサー車横で作業していたところ、ミキサー車が動き出し、右足親指をひかれ骨折した。	56	221	17	10~29
2017	3	7~8	ゴミ収集業務のため、キャブ車に乗車し、担当コース内のゴミ回収・積込を順次行っていた。6ヶ所目の収集箇所に着し、車から降りて荷台にコンパネという囲いを立てゴミを積み込んだ。その後、荷台にネットをかけるため、荷台右側のアオリ部分に立ち、コンパネを掴み移動しながら作業していたところ左足をすべらせ、それと同時に掴んでいた手もはなれて転落し、身体の右側を地面に打ちつけた。	50	221	1	50~99
2017	3	6~7	図書館の業務開始時、外玄関2ヶ所の鍵を開け、本玄関の鍵を開けるためスロープを歩いていたところ、雨天だったため、真ん中にある点字ブロックで滑り転倒し、背中・腰・尻を強打し負傷した。	69	419	2	10~29
2017	3	14~15	浄化センターポンプ室で、浄化設備の水路清掃作業中、水路開閉ハンドル下の水路蓋をもちあげ、移動するために体を回転した（ねじった）とき、体の近くにあった水路開閉ハンドルに股間部を接触させ負傷した。	28	391	3	10~29
2017	3	15~16	お客様宅で移動中に階段で滑り、右手首を骨折した。	68	413	2	1~9

2017	3	12~13	廃棄する鉄板を2階から1階に移動し、コンクリートの地面に下ろすときに呼吸が合わず、左手中指先端を挟み負傷する。	38	521	7	30 ~ 49
2017	3	17~18	下水処理場の平地で足を滑らせ普通に歩いている最中、右足首が外側に曲がり骨折した。	27	417	2	50 ~ 99
2017	3	8~9	工場内にて分別作業中、はねた塩ビパイプが左肩に当たり、転倒した。	63	529	4	1~ 9
2017	3	9~10	右折レーンからUターンしようとしていた際、車が途切れたのを確認できたのでUターンし、少しセンターラインに被ったため車線を整えようとハンドルを操作したところ、後続の車に追突された。	36	231	17	1~ 9
2017	3	9~10	地下にある浄化槽施設で汚泥抜取清掃作業後、施設内の狭い通路を歩行中、通路側面に設置されている配管を支えるステー（地上約50cmにある）の角に右膝上10cmあたりが接触し、右膝上10cm辺りに幅約7cmの切り傷を負った。	24	419	8	30 ~ 49
2017	3	15~16	清掃控室で作業準備中、ゴム手袋がモップバケツに落ちた。拾うため右手を入れた時、モップにあたり怪我をした。	66	379	3	100 ~ 299
2017	3	1~2	事業系ごみの収集作業を行うため、ごみ出し場所に向かった際、アスファルトとコンクリートの段差に躓き転倒し、前方にあった壁に頭部をぶつけ裂傷を負い、また手足も地面に打ち、打撲と裂傷を負った。	39	418	2	50 ~ 99
2017	3	13~14	国道でバキューム車の助手席に同乗中、し尿汲取り作業のためお客様宅へ向かっている時、右折しようとして停止しているところ、後ろから軽トラックに追突された。	27	231	17	1~ 9
2017	3	13~14	国道でバキューム車を運転して、し尿汲取り作業のためお客様宅へ向かっている時、右折しようとして停止しているところに後ろから、軽	28	231	17	1~ 9

			トラックに追突された。				
2017	4	8～9	廃棄物収集業務中に段ボールを収集車に押し込んだ際、誤って奥に手を入れすぎてしまい、右手が巻き込まれた。	56	229	7	30 ～ 49
2017	4	12～ 13	樹上でカラスの巣の撤去作業をしている時に、樹上を移動する為に支障があった為、使用していた安全帯を一時外した際に手を滑らせ、樹上から転落し、腰と肋骨の骨折、肺に穴が開き、肋骨と肺の間に空気が入る怪我を負った。	37	712	1	50 ～ 99
2017	4	10～ 11	顧客先敷地内に於いて、浄化槽の清掃作業中、浄化槽の上を渡ろうとした際、突然、浄化槽上部が割れてしまい、左足がその割れた箇所に入り負傷した。当初は大したことはないと思っていたが、その後、痛みが激しくなった。	46	418	8	1～ 9
2017	4	13～ 14	工場3階塗装1号ブース内に於いて、ブース内の清掃作業中、他社従業員2名が同じブース内にて排気ダクトの取り外し作業中、そのダクト内から大量の水漏れが発生した。被災者が脚立に乗ってバキューム車の吸引ホースにて漏れた水の回収作業をしていた際、水漏れが発生しているにも拘わらず、他社の作業員はボルトの取り外し作業を継続した為、ダクトを支持する金具2ヶ所が荷重に耐えきれずダクトが破損し、そのダクトが倒れて被災者の頭部を直撃し、脚立から転落した際に首と左手を負傷した（ヘルメット着用）。	46	419	6	1～ 9
2017	4	13～ 14	病院内地下の害虫駆除において、洗濯機の下廻り点検中、頭上の乾燥機設置棚に気付かず頭を上げたときに打撲と切創を負った。	43	391	3	1～ 9
2017	4	6～7	小学校内において給食ごみを収集作業中に、中腰の状態で両手に持ったごみをトラックの方へ体を捻りごみを掘り上げる際に痛みが走った。	58	611	19	30 ～ 49
2017	4	8～9	倉庫で50cm×1mほどの長さの鉄板に張り付いていた段ボールをはがすため、被災者が鉄板を右手に持ち、作業者がユンボのショベルで段ボールを挟もうとしたとき、持っていた右手の親指も挟み親指	35	142	7	1～ 9

			を骨折した。				
2017	4	5~6	排ガス再循環用送風機の汚れを発見しウエスにて拭き清掃実施中、ウエスが空冷ファンに巻きこまれ引きずりこまれる形で左手をファンにて受傷した。	55	169	7	30 ~ 49
2017	4	13~ 14	荷卸し作業中、荷台から降車した際に後向きに降車すべきところ前向きに降車したため、ステップで足を滑らせ、手をつき左月状骨を骨折した。	52	221	1	30 ~ 49
2017	5	11~ 12	病院休憩室の出入り口で、休憩室から出る時に上がり台に躓いて左足小指を骨折した。	69	419	3	30 ~ 49
2017	5	8~9	構内駐車場において、4tトラックで産廃物を回収しに行くために資材を積み込み、後方のパワーゲートを閉じる際に、ロックピンの差し込み部に右手を置いたままパワーゲートを閉じてしまい、右手小指を負傷した。	25	221	7	10 ~ 29
2017	5	9~ 10	所定の収集場で作業を終え約30m先の次の収集場へ徒歩で向かうため、パッカー車の脇から交差点内に進入したところ、左側から直進してきた普通乗用車に撥ねられた。	54	231	17	30 ~ 49
2017	5	10~ 11	清掃工場プラットホーム内において、ごみ収集車の後方で投入口付近の清掃をしていた職員にごみ収集車のリヤゲートが接触し、約8m下のごみとピットへ落下し、腰椎を骨折した。	62	221	1	10 ~ 29
2017	5	13~ 14	マンションでゴミコンテナカート（W1,360×D643×H1,050）を塵芥車反転装置に接続しようとして、当人と他の作業員二人で左右に分かれ（当人は左側）前に移動させようと押したところ、ゴミコンテナカートの車輪が動かず、ゴミコンテナカートが前に倒れそうになったので、カートの前を右腕で、カートの後を左手で持って支えた時に、左手をひねった。	29	362	19	50 ~ 99
			会社の向い側にある作業場において、伐採された寸法80cm程度の木				10

2017	5	14～ 15	をコンテナ車に積み込み作業中に、木材を転がして移動させていた時、木材と木材の間に右手中指の先端が挟まれて右手中指の先端部分を骨折した。	37	522	7	～ 29
2017	5	15～ 16	空缶回収用の箱（プラスチック製、縦50×横80×深さ40cm、約30個）をトラックの荷台から降ろす作業終了後、荷台（高さ1m）からアスファルトの路面に飛び降りた際の衝撃により右足踵を骨折した。当日は大したことはないと思ったが、翌日になっても痛みが引かなかった。	74	221	3	1～ 9
2017	5	9～ 10	車両の清掃を行うため、車両に移動禁止表示旗を掲出し、乗務員室出入扉から乗車しようとした時に昇降台から左足を踏み外し、体の左側面を下に左腕を伸ばした形で転倒した。その後、左肩の痛みと左腕に力が入らなくなり、左上腕骨近位端骨折と診断された。	58	371	2	50 ～ 99
2017	5	9～ 10	ゴミ収集場所に到着し降車する際、左足の踵部分から接地したところ、踵部分を内側に少し捻り、ズキンとした痛みを感じた。	49	221	3	50 ～ 99
2017	5	14～ 15	事務所倉庫内で、鋼製のラック（棚）を2名で組み立てていた。1名が電話の対応で離れた為、1人で長さ約4m、重量20～30kg位の金属製の框を、ラックの最上段（地上3～4m位）に設置し、外れ止めの金具を取り付け地上に降り、別作業に移ろうとしたところ、頭上より落下し、右前腕に接触した。本来2人作業すべきところを1人でしたこと、外れ止め金具の確認が不十分であったことが原因と考えられる。	52	391	4	1～ 9
2017	5	9～ 10	粗大ごみ収集作業中、水屋箆笥のガラス戸を両手で外そうとした際に劣化したガラスが割れ、左腕に接触し負傷した。	40	529	8	50 ～ 99
2017	5	9～ 10	団地内の共用通路側溝の清掃作業中、箆でゴミを掃いていた際、側溝縁の段差に足を取られ体のバランスを崩し誤って転倒した時、顔面を地面で強打した。	72	417	2	50 ～ 99

2017	5	9～ 10	道路清掃の作業で、道路脇の泥等を撤去し、トラックの荷台に載せる作業を南側車道付近でしていた。雨が降るので雨よけシートを荷台に覆っていた際、荷台の後部まで来ていたのに気が付かず、落下して負傷した。	61	221	1	10 ～ 29
2017	5	11～ 12	個人宅で汲取り作業中に、バキュームのホースが詰まってしまい、詰まりを解除するための作業を行っていたところ、回転板の隙間に足を巻き込んでしまった。	70	391	7	1～ 9
2017	6	14～ 15	廃棄物処理場、破碎リサイクル施設内で資源物として回収されたビンを運別台に載せ、破袋・不適物の除却を行い、コンベアに載せる作業中に、割れたビンを左手でコンベアに送り出した際に、左手人差し指を切傷した。	64	529	8	30 ～ 49
2017	6	10～ 11	1F屋根の上で雨樋清掃時、屋根に藻が生えていて足が滑り、約3m下に転落し、右足かかと及び、腰を骨折した。	53	415	1	10 ～ 29
2017	6	11～ 12	プラスチックゴミの回収作業中、車から降りて次のゴミ置場へ向かうため走った際に躓いて転んでしまい、その時、地面に右腕をつき負傷してしまった。	63	417	2	30 ～ 49
2017	6	15～ 16	当社請負先（9階建て）にて清掃業務実施中、2階部分にて作業していた社員が、1階に下りてきた際、受付の前辺りに、被災者が横向きに倒れているのを発見した。転倒したものと思われ、被災者の状態に異変を感じた社員が、救急車を手配し病院に搬送したものである。（転倒の可能性大）	70	999	2	1～ 9
2017	6	8～9	基地内にて、艦船からの廃水回収用台船の接岸作業の為、綱取り兼、指示・連絡係として岸壁にて待機していた。着船の際、綱の確認や台船の位置チェックの為、岸壁から台船に渡った時に足を滑らせ、台船デッキ上に落下した。その際、デッキ上の配管に右胸部を強打してしまった。（高低差約1.5m）	47	239	1	10 ～ 29

2017	6	9～10	集合住宅の資源ごみの収集中、小さいレジ袋に入ったごみを拾い上げようと、上半身を前に倒した際、近くにあったガードパイプの支柱に右目の上部を強打した。ぶつかった衝撃で臉に大きな切り傷ができ、大量の出血があった。	54	419	8	50～99
2017	6	8～9	敷地内浄化槽周辺にて、浄化槽清掃作業を行うにあたり、マンホールの蓋を開けようとしゃがみこんだ際、体のバランスを崩してしまい、転倒しまいと左足で堪えたところ、左膝に負担が掛かり過ぎたのか痛みを感じた。数日経っても痛みが引かず、MRI検査を受けたところ、左膝の半月板を損傷していると診断された。	39	921	19	50～99
2017	6	10～11	住宅街の道路で、ゴミ収集場所に向かって走って移動する際（ジョギング位の速度）、ゴミ収集場所を通りすぎてしまい、他の従業員に間違いを指摘され、通り過ぎた場所からゴミ収集場所へ戻る際に右足を負傷した。	50	921	19	10～29
2017	6	3～4	店舗入口窓清掃のため、脚立にのる途中で転倒した。	47	371	2	1～9
2017	6	11～12	被災職員はごみ収集業務に従事していた。収集車にて、運転手及び同僚職員の3人で被災場所の私道に到着し、路上にてごみの積み込み作業を行った。作業を終えて収集車に乗り込もうと私道の側溝を移動中に、被災職員が乗ったはずみで側溝のコンクリート製の蓋が外れ、左脚を側溝にとられて転倒した。その際、左膝下部分を強打し、負傷したものである。	36	418	2	50～99
2017	6	15～16	倉庫内で、両手に荷物を持ち運搬作業中、30cmの高さの棧に足が引っ掛かり、後ろ向きに倒れて腰を打ち、骨折した。	64	418	2	10～29
2017	6	18～19	作業終了後、着替えて帰宅しようと、工場内の階段を2階から下りた直後、フロアにて足を滑らせて右前に転倒した。その際に右足を強打し、大腿骨頸部骨折と診断された。なお、フロアは濡れておらず、障害物があったわけではない。	56	417	2	30～49

2017	7	10~11	武道場敷地内で乗用型の草刈機作業中、進路変更時に運転のミスにより、法面より横すべりして着地時にシートに腰を打ち骨折してしまった。	67	169	1	10 ~ 29
2017	7	13~14	ユニック車の荷台で廃棄物収集の作業中、足を滑らせて落下、転倒した。	41	212	1	10 ~ 29
2017	7	8~9	ゴミ集積所に於いて、収集車両へ不燃物ゴミの積込作業を行っていたところ、パッカー内で破碎されたガラス片が飛散し、その一部が被災者の左眼に当たり負傷。直ちに作業を中断。ゴミ組成に由来する危険性（破碎後の飛散等）に対する予防策を講じていなかったことや、使用者側の安全教育不足等が当該事故の主原因と思料。	50	529	4	50 ~ 99
2017	7	10~11	事業所内に於いて、入荷した廃品物の中身を確認作業中。混入していた刃物を引き出そうとしたところ、手袋が滑り誤って刃の部分に右手人差し指が当たり負傷したもの。	25	529	8	1~ 9
2017	7	8~9	施設と施設の移動の際に自転車に乗っていた。坂道を登っているときに、バランスを崩し転倒。両腕を損傷、右腕を強打し負傷した。	61	417	2	30 ~ 49
2017	7	9~10	現場予定地の調査中に起きた災害。RC共同住宅の共用廊下で屋上既存防水の現場調査の際に、脚立を開いて縦使いに使用、脚立が未固定、補助人員不在で一人の状況で、脚立が横滑りして、倒れ被災者が垂直に落下。	29	371	5	10 ~ 29
2017	7	11~12	公園の除草作業をしている時硬い草をノコギリ鎌で切っていたその時草をつかんでいた左手親指に刃が当たり負傷した。	76	364	8	50 ~ 99
2017	7	14~15	道路脇の草刈の業務をしていたところ作業移動時に石で身体のバランスを崩して足首を痛めた。	73	921	19	10 ~ 29

2017	7	9~10	ごみ置場に出されていた不燃ごみを収集しようとしたところ、ごみ袋の結び目近くをつかんだ際、そのあたりに割れたジョッキ（ガラス製）の割れた部分が上を向いた状態であったため、ジョッキの割れた部分で右示指を切った。	45	529	8	50 ~ 99
2017	7	11~12	当社第一リサイクルセンターのビン・缶選別ラインを清掃中、足元のゴミに気づかずその上に乗ってしまった。バランスを崩して左足をひねった。	61	417	2	50 ~ 99
2017	7	7~8	住宅街で生活ゴミの収集作業をしている時に、文化住宅のゴミのコンテナを引っ張り出そうとしたところ、地面が砂利のためコンテナが動きにくく、力を入れてひっぱったらコンテナをつかんでいる手が滑ってすっぽ抜けてしまい、そのまま体が後方へ飛んで腰を痛めた。	53	611	19	30 ~ 49
2017	7	17~18	廃家電の回収していた。2m角の鉄カゴの中に家電を入れていた。80cm×60cm×30cm（約30kg）のエアコンをカゴの中にしゃがみ込んで入れた後立あがろうとした時左ひざをひねった。その日はそのまま作業をし、後日痛みが引かなかった。	39	921	99	1~ 9
2017	7	9~10	3塁側ボックス席を一人で掃き清掃中、隙間に挟まっている団扇を取ろうとした際、体勢を崩し左手で支えた。	60	921	19	50 ~ 99
2017	7	8~9	車両じゅうたん清掃に使用するポリッシャー（約20kg）を運搬中、階段を降りるためヘッド部分を両手で持ち上げた時、腰に痛みが走ったため、係長へ連絡し係長次長と共に詰所へ戻ったが、痛みが取れないため整形外科を受診した。	33	379	19	100 ~ 299
2017	7	11~12	当社構内作業場において、回収した産業廃棄物を投棄用コンテナボックスに積み込み作業をしていて陶器ゴミの突起部分に左手をひっかけてしまい左手を切創した。	33	529	8	10 ~ 29
2017	7	11~	全般清掃が終了しバキュームを洗浄台に搬出しようとしたところ、	29	418	3	100 ~

		12	電源と洗浄台の間に右足を踏み外し受傷した。					299
2017	7	15～ 16	焼却施設において、焼却灰を搬送するベルトコンベアーの回転ローラーに付着していた灰を除去する作業をしているとき、回転するローラーに工具を押し当て、付着した灰を除去しようとしたところ、ローラーに工具ごと手を巻き込まれ、右手中指をコンベアとローラーに挟まれ負傷した。	59	224	7	～	100 299
2017	7	3～4	焼却施設において、焼却灰を搬送するベルトコンベアーの回転ローラーに付着していた灰を除去する作業をしているとき、回転するローラーに工具を押し当て、付着した灰を除去しようとしたところ、ローラーに工具ごと手を巻き込まれ、右手中指をコンベアとローラーに挟まれ負傷した。	59	224	7	1～ 9	
2017	7	8～9	ゴミステーションで作業中、ゴミ袋を車に積み込もうと踏み出したとき、道路の側溝（段差）に足をとられ負傷した。	40	418	19	～	30 49
2017	7	8～9	被災者はゴミ収集作業に従事し、運転手と共に終日作業に追われ、業務量も最近になく多量であった。翌日朝、右膝の異常に気付き、整形外科に行き療養を行ったものである。	48	611	19	～	10 29
2017	7	9～ 10	公園内で、清掃作業場所を移動中に、階段途中でバランスを崩し、階段下の園路で転倒し、右膝半月板を損傷した。	71	413	1	～	50 99
2017	7	15～ 16	容器包装プラスチック回収作業をするために、収集車から降りた。その際、右足を道路と歩道の間にある縁石に躓いて捻り、右足甲の外側部分に強い痛みを感じてしゃがみ込んだ。相方社員にはケガをしたことを伝えて残りの作業を続けたが、痛みは続いていた。痛みを我慢して作業をすべて終えて勤務先へ戻り、帰宅した。帰宅後に湿布を貼って様子を見たが、痛みは引かず腫れも出てきた。	20	419	19	～	50 99
			右側非常駐車帯において、天井が次第に低くなっている場所で、					10

2017	7	5~6	しゃがみこんで除草作業をしていたところ、上部鉄部分（高さ150cm）に頭を強打（ヘルメット着用）し、メガネで鼻の上部を切り、出血及び手の痺れや痛みが発生した。	48	418	3	~	29
2017	7	13~14	新幹線清掃作業終了後、待機詰所に戻ろうと新幹線のホームの階段を降りているとき、突然右膝が緩んだような感覚と共に、右ふくらはぎ上部に痛みを感じ、足が動かなくなった。	62	413	19	~	300 499
2017	7	8~9	業務車を運転して移動中、交差点の右折車線に停車中、後続車に追突され、外傷性頸部症候群、頸椎捻挫を負った。	49	231	17	~	500 999
2017	7	15~16	現場作業を終えて、作業敷地内から車両に戻る途中、草木の生えた狭い路地を歩いたとき、通る側に広がっていたトゲのある植物の枝に身体・顔がぶつかり、右眼に枝が刺さった。	31	719	8	~	10 29
2017	7	11~12	事業所内の木を剪定した枝を収集車に積み込む作業に従事していた。積み込みのために枝を抱えたとき、半袖の作業服から露出していた腕に枝が触れたことにより、湿疹が出て、そのあと全身に広がった。	39	519	12	~	50 99
2017	7	9~10	ごみ収集の作業中、被災場所に設置してあるごみストッカーを開け、ごみを収集しようとしたところ、ストッカーの底にハチが複数おり、刺されてしまった。痛みを感じ、すぐに逃げたが、ハチが追ってきてさらに刺されてしまった。	45	719	90	~	100 299
2017	7	9~10	車庫内で清掃作業のため、バケツなどの清掃用具を両手で抱え移動していた。レールを渡り、レール横のグレーチング（格子状に組んだ溝蓋）上にあったバラス（線路などに敷く砂利）を踏んで足が滑ってよろけたが、踏ん張り一旦は耐えた。しかし、反対側の足もバラスで滑り、道具を抱えたまま倒れ込んでしまった。その際、棧橋階段の最下段で頭を打ち、額から出血した。そのまま病院に搬送され、治療（6針縫合）の後、一旦車庫に戻った後に帰宅した。翌日、頭部の治療のため通院した際に胸の辺りに痛みがあり、診察し	48	418	2	~	10 29

			てもらうと肋骨を骨折していた。				
2017	7	12～ 13	清掃作業をしているときに、傾斜地にある樹木の枝を切っていたところ、その切り取った枝が樹木の隣にある網状のフェンスの上に引っかかってしまったので、その枝を取ろうとフェンスに上ったところ、バランスを崩して転落した。	31	419	1	10 ～ 29
2017	7	9～ 10	食品リサイクルセンター内において、受け入れ台に回収した生ゴミ500L容器の台車を搬出作業中、一箱ずつ運搬していた際、ゲートの重量で崩れて500L容器のバランスが悪くなったので、体勢を立て直していたところ、先に出していた500L容器との間に手が挟まり左手小指を負傷した。	27	611	7	30 ～ 49
2017	7	14～ 15	現場調査の際に梯子から落下したものである。	60	371	1	30 ～ 49
2017	9	15～ 16	当社敷地内の車庫にて、中二階（地上約3メートル）へ梯子を掛けて昇り荷物を移動する作業を2人で行った。作業終了後、中二階から梯子で中程まで降りていたところで、梯子が滑り前方へ外れたことにより、約1.8メートルほどの高さから下に落ちた。この際、背中を打ち受傷したものである。	33	371	1	10 ～ 29
2017	9	9～ 10	植栽剪定中、切った枝をチェーンソーで短くしていた時に、チェーンソーが滑って、枝を持っていた左手の指先に刃が載ってしまい、切傷、骨折したものである。	70	136	8	100 ～ 299
2017	9	0～1	各出張先の現場で、超高圧洗浄機を使用して、主として産業洗浄業務、各種メンテナンス業務作業を約1年5ヶ月間繰り返し行ってきたところ、右手首に痛みの違和感を覚えながら、業務に支障をきたさないように作業を続けてきたが、出張先現場での作業中に強烈な痛みにおそわれたため、上司にその旨申し伝え、早急に受診するよう指示された、後日、「右手関節TFCC損傷」と診断されたものである。	23	921	19	10 ～ 29

2017	9	13～ 14	資源化施設にて、ベルトコンベア上の空きビンの選別作業を行っていた際に、軍手と厚手のゴム手袋を二重に装着し、割れた空きビンの破片を両手でかき集め収集箱に入れていた所、空きビンの破片が右手の親指の付け根に刺さり受傷した。	46	529	8	30 ～ 49
2017	9	10～ 11	ペットボトル収集作業の為、ごみ置き場の扉を開けて足を踏み入れた時に、入り口付近にあったガラスの破片を踏んでしまい、左足かかと辺りに刺さり負傷したものである。	28	529	8	30 ～ 49
2017	9	15～ 16	廃棄回収現場前の路上に駐車し廃棄物入りフレコン製をユニックで吊り上げ荷台に載せる作業を行っていた時、吊り上げたフレコン袋がトラック荷台のあおりに引っかかった状態になった。荷台に上り（作業手順では積込時には上らない）、ユニックの竿を回転させ強引に引っかかりを解こうとしたところ、急に引っかかりが解け、竿が回転軌道上に立って作業していた従業員にフレコン袋が勢いよく当たり、トラック荷台から地面に転落し、右肘部分を負傷した。	42	212	6	100 ～ 299
2017	9	15～ 16	高さ2m程度のロッカーを寝かせて両端を2名で持ち、後ろ向きで3階から2階への階段を下りていたところ、左足を次の段に掛けた時に階段を踏み外し、左に身を振りながら倒れて、ロッカーに押されるような形で階段を転がり落ちた。ロッカーは2階踊り場で止まったが、本人は1階まで落ち、転がり落ちた時に、左足首を捻挫した。	53	413	1	1～ 9
2017	9	0～1	夜間ごみ収集を行った際、歩行中に左足をひねり、倒れた際に左足首を強く打ち、痛みがでたもの。（歩行中によろけて、バランスを崩したもの。）	50	417	2	50 ～ 99
2017	9	13～ 14	作業場所である公園において、刈草の積込作業を行っていた、作業中に軽トラックの荷台から足を滑らせ60cmくらいの高さより滑り落ちた、その際に右足下腿部が軽トラックのバッテリーが備え付けられている箇所に接触し怪我をした。	66	221	1	1～ 9
			当社事務所横の倉庫にて、4尺脚立（高さ約120cm）を使い、ステッ				

2017	9	17~ 18	プの2段目（高さ60cm）に足をかけ、脚立をまたぐ形で立ち上がり高所の道具を取ろうとしたときバランスを崩して後ろにのけぞってしまい、元に戻そうと重心を前に移動させたところ、右足を滑らせ、右側面から転落し、床面（コンクリート）で骨盤を強打し負傷した、当時、脚立の接地部分にはガタつきもなく安定していた。	58	371	1	30 ~ 49
2017	10	10~ 11	被災者は当社の廃棄に従事する者であるが、事故当時工業団地に於いて、依頼された産業廃棄物を処理すべく現地へ行ったが、辺りは雑草が生い茂り車両が入れないため先に刈り払い機で草刈り作業を行っていたところ、被災者が側溝（コンクリート製幅約1m深さ1m）に気がつかず誤って落ちた際、負傷したものである。	61	416	1	10 ~ 29
2017	10	9~ 10	店荷受ピットにて、パッカー車でダンボールの回収作業を同僚と2名でしていた。ホッパーから積み込んだダンボールが排出された為、ホッパー内にダンボールを足で押し返したところ、床に落ちていたダンボールで足を滑らせ転倒し右足がホッパー内に入った。回転板に足首が挟まれた。すぐに同僚が緊急停止ボタンを押したが骨折した。	59	229	7	10 ~ 29
2017	10	9~ 10	取引先の空ドラムと20?の廃油入りドラム2本の回収作業。取引先の敷地内でドラム1本（廃油入）を横にして、作業車へ乗せる時、左膝の骨に力が加わり、ヒビが入ったもの。	46	921	19	10 ~ 29
2017	10	15~ 16	本人他一名は、気動車の下回り洗浄のため高圧洗浄機を使い山側から洗浄開始した。洗浄機ホース移動の世話役をしていた本人は、山側が終了したので海側へホースを渡そうと引っ張っていた時、ホースが足に引っ掛かりバランスを崩し、ピット渡り板上に転倒、右脇腹上部をレールに打ち付け負傷した。	60	417	2	100 ~ 299
2017	10	9~ 10	取引先にて、荷台から段ボールを下ろす作業を終了後、荷台から降りて着地をする際に、右足を捻って負傷した。	40	221	3	1~ 9
2017	10	9~	庭園で中木の剪定作業中脚立の上でのこぎりで枝をはらっていた時に切り終えた枝が予想以上に重く体を持っていかれバランスを崩し	62	371	1	300 ~

		10	転倒。左手首を着き、左焼骨遠位端骨折と診断された。				499
2017	10	6～7	塵芥収集作業中、交差点附近のゴミ回収後、西方向へ横断歩道を走って渡っている最中、足がもつれて転びそうになった。結果、左肩から転び負傷した。	48	417	2	10 ～ 29
2017	10	14～ 15	法面で害虫駆除を行い、作業終了後使用したホースの片付けをしていたところ、バランスを崩し落ちそうになったので、高さ約2.5mの石垣の上から自分で飛び降り両足で着地した。夜になり、足首のあたりが腫れ、痛みが出た。	64	417	3	50 ～ 99
2017	10	8～9	住宅の浄化槽の清掃作業を行うため、浄化槽の鋳物製マンホールを手鉤で開けようとした際、マンホールが錆びついていたので、持ち上げようと強く力を込めたところ、腰に負担がかかり負傷したものの。	33	419	19	1～ 9
2017	10	19～ 20	清掃作業中にデッキ上の突起物につまずき転倒しないように左足で踏んばろうとしたところにグリス片がついており滑って左膝を痛めてしまったもの。	44	417	19	1～ 9
2017	10	14～ 15	車道にて農業集落排水管路のマンホール内の点検作業中、足元を確認せず、すでに開いているマンホールに右足落下し左足に負担がかかり、左足首を負傷した。	33	414	1	10 ～ 29
2017	11	14～ 15	ダンプに積み込みをして降りる際に足が滑り、地面に左膝を打ってしまった。当日の天候は曇であった。	42	221	1	1～ 9
2017	11	11～ 12	今年の入社以来、未経験の仕事でもあったため、廃棄物収集車から降りて収集車に廃棄物を積み込む作業を迅速に行おうと努め、各回収現場で走り回るといふ毎日を過ごしていたら、次第に足が痛むようになってきた。痛みを自覚し始めたが、しばらくは我慢しており、後日に受診するに至った。	36	921	19	50 ～ 99
2017	11	10～	旅費の精算のために行った際、誤って入口の段差で足を踏み外し、	40	418	3	50 ～

		11	足をひねり左足を負傷した。						99
2017	11	18~ 19	清掃作業中に右足のふくらはぎの部分がつっていて歩行は可能だが、小走りになると痛みを感じると言うことなので大事をとって作業を中止させ、代替を手配し、事業所で湿布薬による応急処置を行った。本人より、通常の歩行は問題ないとのことなので、翌日は所定の特休のため、痛むようであれば、病院に行って事務所に状況を報告するように指示し、早退させた。その後、本人から電話があり完治まで2週間はかかると診断された。	44	416	19	~	30 49	
2017	11	11~ 12	受水槽清掃時、足を滑らせてタラップより約1.7m落下した。腰を打ちつけて骨折した。	69	419	1	1~ 9		
2017	11	7~8	パッカー車で段ボールの収集を行うため集積場に到着した。集積場にて段ボールの積み込み作業を開始した。積み込みを終了し巻き込みを行っていた際、段ボールの隙間から小さな段ボールの包みが出てきたので、押し込もうとした時、段ボールを結わえていたビニール紐が左手小指に絡みつき左手がホッパー内に引っ張られ圧縮板に挟まれたので、左足で緊急停止スイッチを押し巻き込みを停止させた。圧縮板が停止したので左手を引き抜こうとしたが抜けなかったので、右手で反転ボタンを押し圧縮板を反転させ挟まれていた左手を抜き119番通報を自分で行った。	51	221	7	~	50 99	
2017	11	15~ 16	設備・環境の確認のため、体育館裏の通路を通り、本校舎に戻る途中、敷石の段差に気付かず躓き、前のめりに転倒し、敷石部に両膝、両腕（上腕部）、首、額を強打した。	62	419	2	~	100 299	
2017	11	8~9	職場において、清掃作業中本人は何も持っていない状態で、階段を2階から3階へ登る時に膝がグキッとなった。後日に病院へ行き診察、右膝関節捻挫、左膝関節骨折、及び両膝外傷性関節炎と診断された。	68	417	19	~	500 999	
			駐車場で4tユニックを使用して塩ビパイプの入ったトンパックを吊						

2017	11	15～ 16	り上げ作業中に、荷台の上で片付けようとしてクレーンリモコンを誤って押してしまいトンパックが当たり荷台から落下し、転倒して右鎖骨を骨折した。	53	212	1	1～ 9
2017	11	13～ 14	脱水作業中に制御盤のモニターを確認するために階段を下りようとした際、めまいが発生し階段から転落した。	53	413	1	10 ～ 29
2017	11	7～8	構内で出発前の準備のため、4 吨車（廃棄物収集運搬車）の助手席側のステップに足を乗せて車内整理をしていた時、誤ってステップ（高さ40cm前後）から足を滑らせ転倒し、その際、後頭部を地面（アスファルト）に強打し、被災したものである。	47	221	1	10 ～ 29
2017	11	11～ 12	ゴミ分別作業終了後、待機場所へ戻る際、洗浄線通路を歩行中、よろけてバランスを崩し洗浄線に転落した。	61	418	1	10 ～ 29
2017	11	10～ 11	月掃A担当で会社E講習室の臨時特別清掃の際、剥離作業中に移動する際、床面に塗ってある剥離剤に滑って転倒して頭を打撲した。昼過ぎに事務所に到着後、当直に申告を行い若干の痛みはあるものの、打撲した際、めまい、吐き気等は無く清掃を継続できると申告した。夕方、確認するも大丈夫と申告した。もし体調が悪いようであれば病院へ行くように指示を行い、帰宅させた。尚、後日、勤務前に再度体調を確認したところ、下を向いたら気分が悪いと申告したため、すぐ病院へ行くよう指示し帰宅させた。	53	416	2	100 ～ 299
2017	11	11～ 12	荷物の積み込み作業中に、現場のゴミを回収して、コンテナ上のフックをゴミ袋から外す作業中に、ゴミ袋の持ち手に足を引っ掛けてしまったため、前に倒れ咄嗟に両手をついたところ右手捻挫、左手骨折した。	43	221	2	50 ～ 99
2017	11	13～ 14	事務所から現場に向かう時、雨が降っていて、事務所前で転んだ。	41	417	2	10 ～ 29

2017	11	16～ 17	パワーショベルが左側方向約45～60度旋回時に、右側後方で接触、倒れたものと思われる。旋回半径内の確認不足による接触であり、今後パワーショベル等機械の作業範囲内の立入禁止と、オペレーターの確認を徹底する。	70	142	6	1～ 9
2017	11	9～ 10	ごみ収集車の洗車中、後部の排出板の隙間に挟まったビニール袋を取り除く際に左手でそのビニール袋を握り、助手に操作を依頼して排出板を前後させた。その時に左手が排出板に挟まってしまい、左手の甲を裂傷し、中指の第二関節を骨折した。	61	229	7	10 ～ 29
2017	11	10～ 11	工場敷地内にて、トラック（大型ウイング車）から圧縮された廃プラスチック（一塊が約1m×1m×1.5mの長方形、重さ約800kg、当時16塊積載）を降ろす作業中、トラック左後方にてウイングを開けていると、廃プラスチックが荷崩れを起こしており、一塊が落下した。その際、トラックのアオリ（高さ約1m、アルミ製）に添えていた左掌に重量がかかってしまい、負傷した。会社に戻ると手が腫れてきたので、病院を受診した。	42	221	7	30 ～ 49
2017	11	19～ 20	被災者は、ごみ焼却施設の運転管理業務に従事しており、コンベヤ内部のフライト状況を確認するためフライトにチョークで目印を付け、一周するのを点検口から目視していた。内部の確認を終えたので、目印を消すために点検口から手を入れ稼働中のフライトに触れた時に、左手を巻き込まれた。	64	224	7	10 ～ 29
2017	11	13～ 14	ポンプ場内で水路の除草やゴミの撤去作業中に水路右岸の除草を終えて、対岸に移るため、一段下の水量の少ない水路を渡る際に、足を滑らせて前のめりに転倒し、負傷した。	60	417	2	30 ～ 49
2017	11	9～ 10	浄化槽清掃作業中、浄化槽近くにあった、花壇の花の添木にしていた細い鉄の棒に、本人確認不足で気づかず、しゃがみ込んだ時にまぶたに鉄の棒が刺さった。	42	419	8	1～ 9
		11～	処理センターにて機械のベルトコンベアに引っ掛かった袋を取り除こうとベルトコンベア横の昇降階段の5段目（地上高106cm）で、ほ				30

2017	11	12	うきを両手に持って手すりに足をかけて作業しようとしたら、足が滑り後方の手すりに当たり、床に転落する。	49	413	1	～ 49
2017	11	15～ 16	宿泊施設と宿泊施設間の落葉などを清掃作業中、砂利道のためその砂利で滑り転倒した時、右手をついたため右手首を骨折した。	63	417	2	30 ～ 49
2017	12	8～9	ブロイラー農場の給餌器、給水器の手洗い作業をしていた。1棟目の作業が終了し、次の鶏舎に移動する時に農場通路へ出た際、通路が凍結していたので足を滑らせ転倒した。	70	719	2	10 ～ 29
2017	12	16～17	休憩所脇のフェンス付近において、洗濯済みの雑巾をフェンスにかけ、乾かした雑巾をとろうとした時に、足元に少し大きめの石があったので、跨ごうとしたところ、思ったより足が上がっておらず、石につまずいて転倒し、負傷した。	75	417	2	10 ～ 29
2017	12	13～14	会社敷地内にて、塵芥車の回転式投入口にゴミを入れようとして、誤って左腕を引き込まれ、左前腕骨を骨折した。	61	229	7	10 ～ 29
2017	12	11～12	被災者は清掃作業中、休憩を終え、監視ビデオで確認したところでは、エントランスとアプローチ外周の拾い掃きを行っていた。その後、監視ビデオでは死角になっている外周の掃除をしていた。しばらくして、住民が倒れている被災者を発見し、救急車で向かったが、心臓発作で死亡が確認された。	77	999	99	50 ～ 99
2017	12	15～16	パッカー車にダンボール投入作業をしていたとき、ダンボールを固定しているビニールテープをカッターで切る作業中、雪のために滑り大また開きの状態となった際、左足の一部がパッカー車に接触し負傷した。当日は作業がコンテナ上のため通常より高い位置であった。また雪のため足元が滑りやすくなっていた。十分に距離などを確保していたが、その作業については距離が短くなっていたと考えられる。	50	221	7	1～ 9

2017	12	9~10	パチンコ店のホール中央に、作業中に使う道具を並べていたところ、作業の終了時間間際になったため、急いでパチンコ台の列から列へ移動した。その際、モップを濡らすための大きい四角の容器に足が引っ掛かって転倒し、体の左側・手・足及び顔を石床に打った。	70	417	2	50 ~ 99
2017	12	11~12	可燃ごみ収集作業中、可燃ごみのある方へ小走りで向かった際、グレーチング部分で足を滑らせ、左肋骨と左腰を地面に強打した。	56	417	2	50 ~ 99
2017	12	14~15	会社工場内にて、2tダンプの荷台に上がり、1袋5kg程の廃棄物の積み込み作業をしていたところ、足を掛けた荷台側面の木製あおりが折れ、バランスを失い地面へ落下した。	39	221	1	10 ~ 29
2017	12	11~12	リネン交換・洗濯業務を請け負っている介護施設において、ベッドのシーツ交換中に、中腰の状態で上半身を捻じったときに、腰から背にかけて強い痛みが生じた。背骨両側の筋肉が捻じれた状態で、後日にMRI検査を行った結果、骨折もしていたことが分かり、コルセット装着のうえ、自宅療養となった。	73	379	19	100 ~ 299
2017	12	14~15	団地内の駐車場で清掃作業中、箒を使って地面を掃いていた際、縁石に足をとられて転倒したとき、右顔面および右足を強打し負傷した。	70	416	2	50 ~ 99
2017	12	21~22	駅の上りホームにて、塵取りと箒を持って掃き掃除中、ベンチ下を掃こうとした際に右足を滑らせ、右膝を捻じった。	63	417	2	10 ~ 29
2017	12	13~14	一方通行でごみ収集作業中に、パッカー車（作業車）の死角から自転車が現れ、避けようとしたときに右足を骨折した。	30	362	19	10 ~ 29
2017	12	14~15	外壁清掃作業で、脚立を壁に立て掛け、それに乗って作業し、降りるときに脚立ジョイント固定金具が破損して転落し（高さ約170cm）、左足脹脛と右背中の肋骨を打撲負傷した。当日は自転車と歩	70	371	1	10 ~

			きで帰宅したが（約1.5km）、夜中に痛みが出て動けなくなった。					29
2017	12	16~17	会社の作業場で、3tトラックの荷台に上って廃棄物を降ろしたあと、下に飛び降りたときに右足首を挫いて負傷した。	51	221	3		1~ 9
2017	12	15~16	帰宅のため会社所有のトラックで出発し（軽トラックに燃料を給油するため、軽トラックで帰宅）、トンネル内に差し掛かったとき、対向車の大型トレーラーのタイヤがパンクし、横転したトレーラーの下敷きとなり死亡した。	35	221	17		1~ 9
2017	12	7~8	日常業務中、住宅敷地内の東側駐輪場出入口付近にあった、倒れた自転車を起こしかけたところ、足が自転車にからまって転倒し、左肩を強打した。なお、日常業務とは、住宅（200戸、40店舗）の敷地内共有部分（通路、ホール、階段、駐輪場、駐車場）の清掃である。	74	362	2		1~ 9
2017	12	14~15	校舎教室の清掃作業中、音楽教室内の物を搬出時に、教台（約横1.5m、縦50cm、約8kg、木製）を2人で持ち上げて動かした際、重量があったためバランスを崩し、片方が手を滑らせ、被災者の左足親指の上に落下し、左足親指裂傷、先端の粉碎骨折となった。	45	391	4		30 ~ 49

出典：https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pgm/SHISYO_FND.aspx(職場のあんぜんサイト)

Return to : https://www.jisha.or.jp/international/topics/202206_06.html